

学生「居酒屋」めぐりで商店街活性化

九工大生が「マップ」作成

お薦めや印象、割引特典も

飯塚市

飯塚市の商店街の居酒屋マップを作った九州工業大3年生

昨秋から飯塚市の中心商店街の活性化策を考えてきた九州工業大情報工学科(同市川津)の学生が、活動の集大成として「飯塚商店街かいわい居酒屋さんマップ」写真Ⅱを作成した。飯塚キャンパスで学ぶ約2300人の学生や大学院生が市中部を訪れるきっかけを作り、商店街を盛り上げようと、コンパに適した飲食店などを紹介している。



学生は電子情報工学科の3年生5人。小田部荘司教授(超電導)のゼミの一環で、専門の研究とは直接関係のない分野でも自発的に調べる力を付けようと、昨年10月から商店街の活性化策を研究。毎週商店街を訪れ、店主の話や聞いた、子ども向けのイベントを開いたりしてきた。

1月に居酒屋や洋食店、バーなど計10店を取材。マップには場所や営業時間、コース内容を書き込んだ。「生春巻きサラダは絶品」

など、お薦め料理や店内の印象も一言添えた。掲載店では、九工大の学生や院生が学生証を示すと「飲み放題1人1時間千円」「1割引き」といったサービスを受けられる。

マップを作った吉村彩華さん(21)は「自分が好きな魚料理や、焼き鳥がおいしい店を紹介した」と話す。永田隼也さん(21)は「外観がおいしそうなところを選んだ」。二宮尚輝さん(21)は「コンパをしやすい広い店を探した」という。マップは2千部作り、今月中旬に完成した。4月以降、学生が手に取りやすいよう研究室や生協、大学事務室に置き、新入生にも配る。釣田真琴さん(21)は「マップを友達に見せたら『欲しい』と言われた」と喜ぶ。

(野津原広中)